船橋市遺児手当支給実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、船橋市遺児手当支給条例（昭和46年船橋市条例第22号。以下「条例」という。）の施行に関し、船橋市遺児手当支給条例施行規則（昭和46年船橋市規則第27号。以下「施行規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 条例第6条第1項に規定する保護者の家族全員とは、遺児の父若しくは母又は養育者及びこれらの者の扶養義務者（民法（明治29年法律第89号）第877条第1項に規定する扶養義務者をいう。）で、生計を同じくするものをいう。

(死別した児童の特例)

第3条 条例第2条に規定する児童を現に養育している父又は母が次に掲げる場合に該当するときは、その児童を同条に規定する死別した児童に含まないものとする。

(1) 婚姻(婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある場合を含む。)

した場合

(2) 養子縁組により現に児童を養育している父又は母のほかに、養父又は養母が存在する場合

(認定の基準)

第4条 条例第4条第1項に規定する認定は、遺児手当の支給の申請をした日を基準として行うものとする。

(所得状況届の添付書類)

第5条 施行規則第7条に規定する書類とは、当該年度の4月1日において存する保護者の家族全員の前年の所得を確認できる書類をいう。

附 則

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。